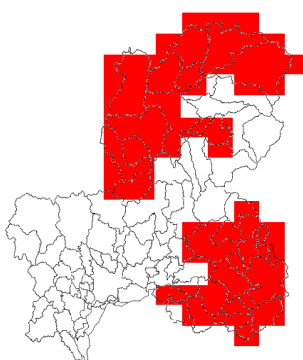


シラヒゲソウ	<i>Parnassia foliosa</i> Hook.f. et Thomson var. <i>foliosa</i>	準絶滅危惧
		ユキノシタ科
選定理由	分布域の一部において生育条件が悪化しており、種の存続への圧迫が強まっていると判断される。	写真(岐阜県博物館)
形態の特徴	高さ15-30cm。長柄の根生葉を束生し、根茎が短い多年草。花茎の頂に5数性の白色花をつけ、花弁の縁はひげ状に細裂する。花茎を抱く葉の数が4-8個、花の径が2-2.5cmで小さい。花弁の長さはひげとともに1cm程度、萼片(がくへん)は卵形鈍頭で5mm程と小さい。	
生態的特徴	山地や丘陵地の明るい湿地に生育し、8-9月に花を咲かせる。	
分布状況	本州、四国、九州に分布し、岐阜県においては、飛騨地方、美濃地方東部にみられる。	
減少要因	生育地が分断され、生育面積が狭く個体群も小さいため、環境の変化に影響を受けやすい。さらに採取圧も懸念される。	
保全対策	生育地の保全、採取の制限。	
特記事項	開発工事の計画には、事前の調査が必要である。	
参考文献	佐竹義輔他編集(1982)日本の野生植物 草本Ⅱ 離弁花類:p.154-155. 平凡社 大井次三郎(1983)新日本植物誌 頭花編:p.808. 至文堂	

文責:後藤常明